

# 加盟団体だより

## ムラのミライ

ムラのミライはムラ=地域・コミュニティの人たちが、自分たちのミライ=これから暮らしをより良くしていくようと動き出していくお手伝いであれば、どこでも・何でもやります、という団体です。海外だけでなく日本でも、アジアだけでなくアフリカや中東でも活動していますし、教育・環境・災害など何かのテーマに特化しているわけでもありません。

一見「いろんな場所で、いろんなことをしている団体」なのですが、一つだけ「こだわり」があります。それはメタファシリテーション(対話型ファシリテーション)という活動手法です。村人に質問を投げかけるだけ、というシンプルなものです。対話によって、コミュニティが持つ経験や知識を引き出します。このやり方が、「〇〇が足りないから〇〇できない」「〇〇が必要」という地域住民の思い込みをひっくり返し、本気で課題解決に向かわせる力を持つ手法として注目されるようになりました。今では、書籍や研修を通じて広まり、国内外に実践者を増やしつつあります。

そもそもムラのミライは1993年の設立当初、「インド山村部の貧困層を助け

よう」と、識字教室や収入向上活動など、「ない」ものを支援することから始めました。しかし、活動目的に掲げた「自立支援」と、活動現場で起こっている「援助劇場」=支援しようと村に入ったNGOが課題と解決策をセットで持ち込む構図とのギャップに気づいて悩みます。様々な試行錯誤を繰り返したのち、援助劇場から脱出する方法として確立したのがメタファシリテーションでした。

その手法とはどんなものなのか?活動地で、実際にどんな対話がなされ、どんな結果を生んでいるのか?関心を持たれた方は、ムラのミライのHPやブログをご覧ください。

今年、長らく本部であった飛騨高山のオフィスを閉じ、日本での活動拠点を下記の関西オフィスに一元化しました。事務的な拠点は関西に集約しましたが、高山や名古屋はもとより、北海道から沖縄まで、日本各地での人材育成やフィールド活動は今後もますます力を入れて深めていきます。どうぞご参加ください!

(専務理事 宮下和佳)



フィールドワーク入門ツアー(インド)